

第42回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会③】

日時：2024年4月10日（水）

部会①・部会③

10:00～11:00（予定）

場所：JR 東日本現地会議室

次 第

【部会③】

(1)開会

(2)調査状況について

【資料1】

(3)工事ステップについて

【資料2】

(4)その他

(5)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

試掘調査状況について

□ : 高輪築堤・薩摩台場推定範囲
(明治20年頃)

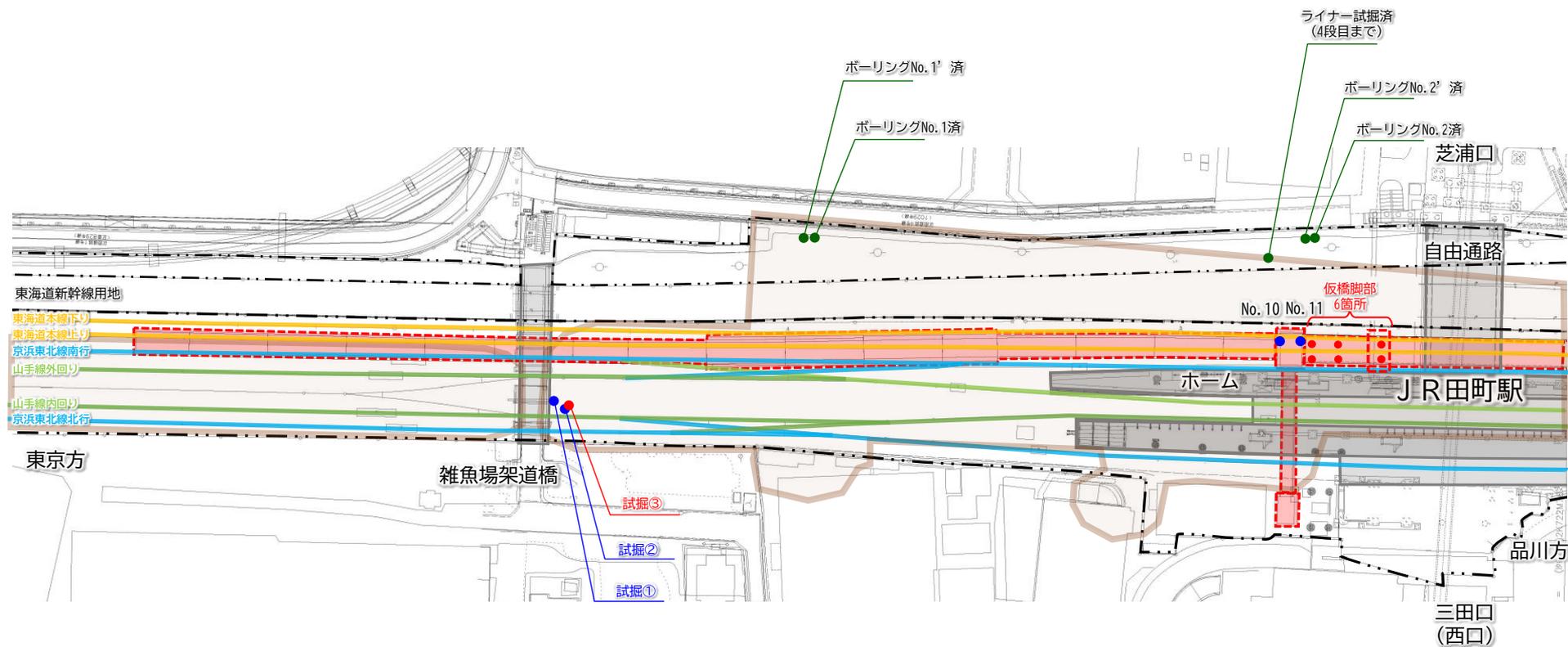
□ : 東海道線接続関連構造物

--- : 用地境界

● : 試掘箇所(実施済)

● : 薩摩台場内外の
ボーリング箇所(実施済)

● : 今回実施箇所



雑魚場背面試掘で検出された遺構について

【試掘①】



遺構検出状況(東から)

遺構の検出規模等

石積み: 谷積み。高さ84cm以上(3段)、幅135cm以上(5列)

煉瓦構築物: 石積みと直交している。さらに30cm程は石積み下、西側へ続くとみられる。煉瓦最上段にやや厚く、セメントが付着。

コンクリート: 高さ94cm以上、幅1.0m以上
一部、型枠とみられる木材が残存する

煉瓦の所見

イギリス積み

平均サイズ: 227 × 111 × 59mm

成形: 機械抜き成形とみられる

6段目まで確認(さらに下部へ続く)

目地: セメントが多い



煉瓦構築物の側面(南から)

構築順序: 煉瓦構築物→コンクリート→石積み

煉瓦構築物は煉瓦のサイズや成形技法から明治時代後半～大正期に構築されたと推定

【試掘②】



遺構検出状況(西から)

コンクリート基礎を伴う4段の煉瓦構築物を確認。北側の小口面が端になっている。

煉瓦より西側(ライナー外)には裏込めとみられる礫を多量に確認。間知石の尻先とみられる部分も含まれる。

煉瓦の所見

長手積み

平均サイズ: 227 × 109 × 59mm

成形: 機械抜き成形とみられる

最上部には目地が付着し、さらに煉瓦が積まれていたと推定される。コンクリート基礎は礫を多量に含む。

目地: セメント量の少ないモルタル地



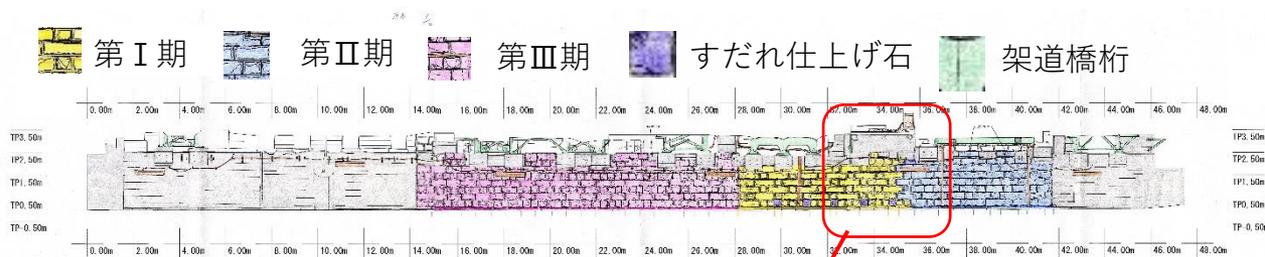
煉瓦構築物と裏込め(西から)

煉瓦構築物は煉瓦のサイズや成形技法から明治時代後半～大正期に構築されたと推定

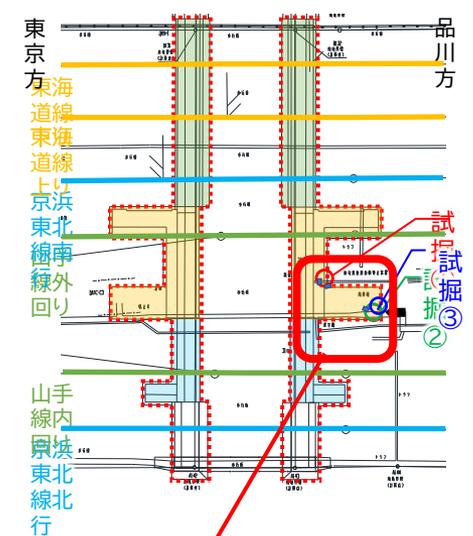
尻先を確認した間知石と裏込めは試掘坑①で検出した石積みの続きで、石積みの背後が露出した状況と考える。

煉瓦構築物は石積みの背後を部分的に補強するためにつくられた可能性が高い。

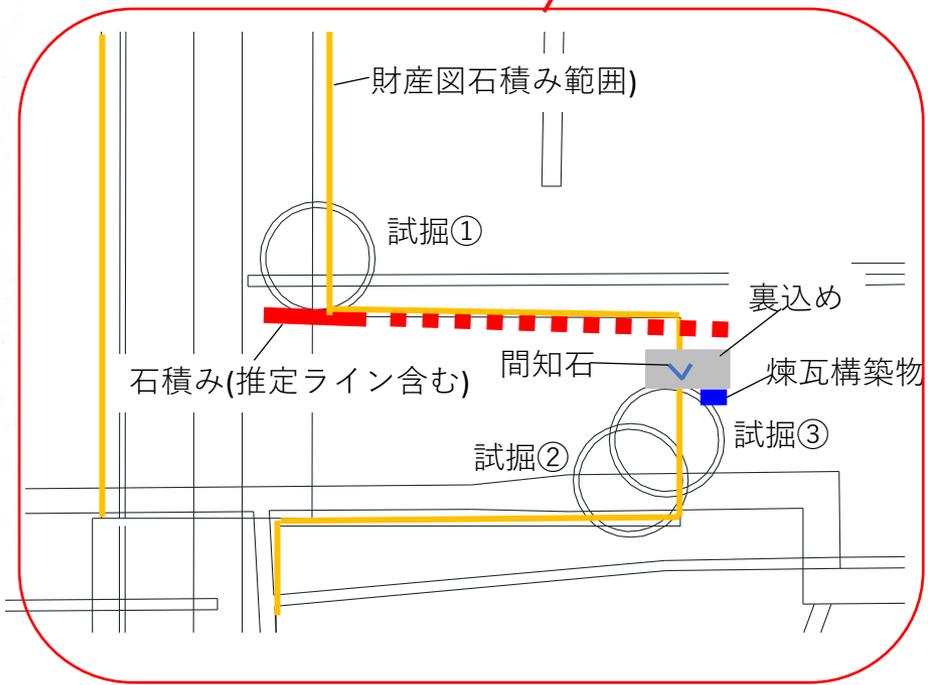
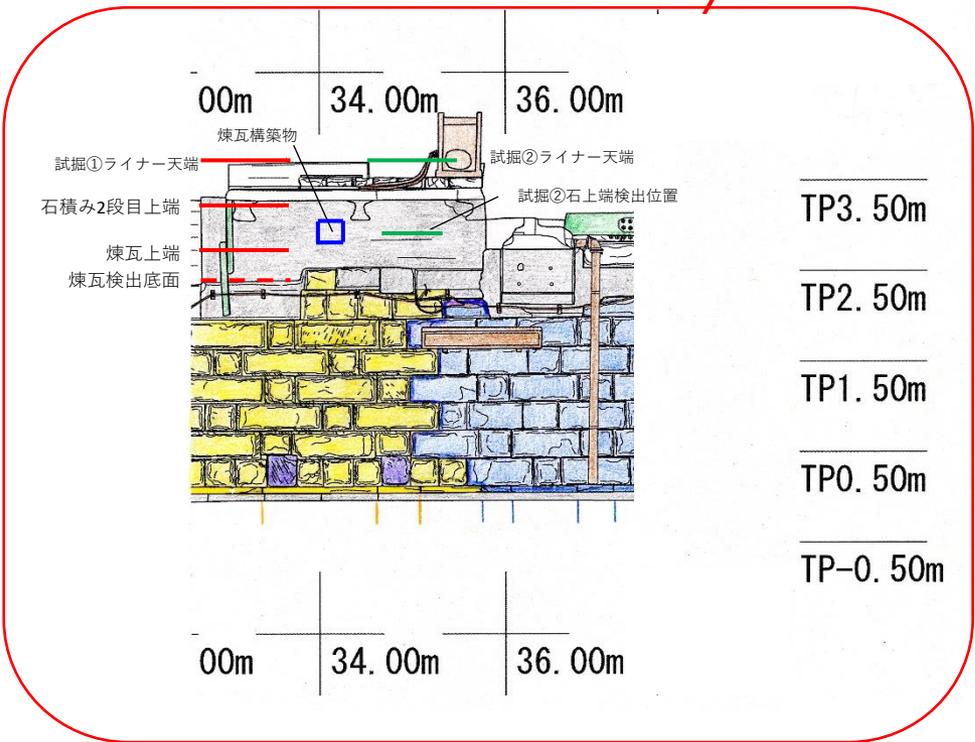
雑魚場背面試掘で検出された遺構について



平面図(財産図より推定)



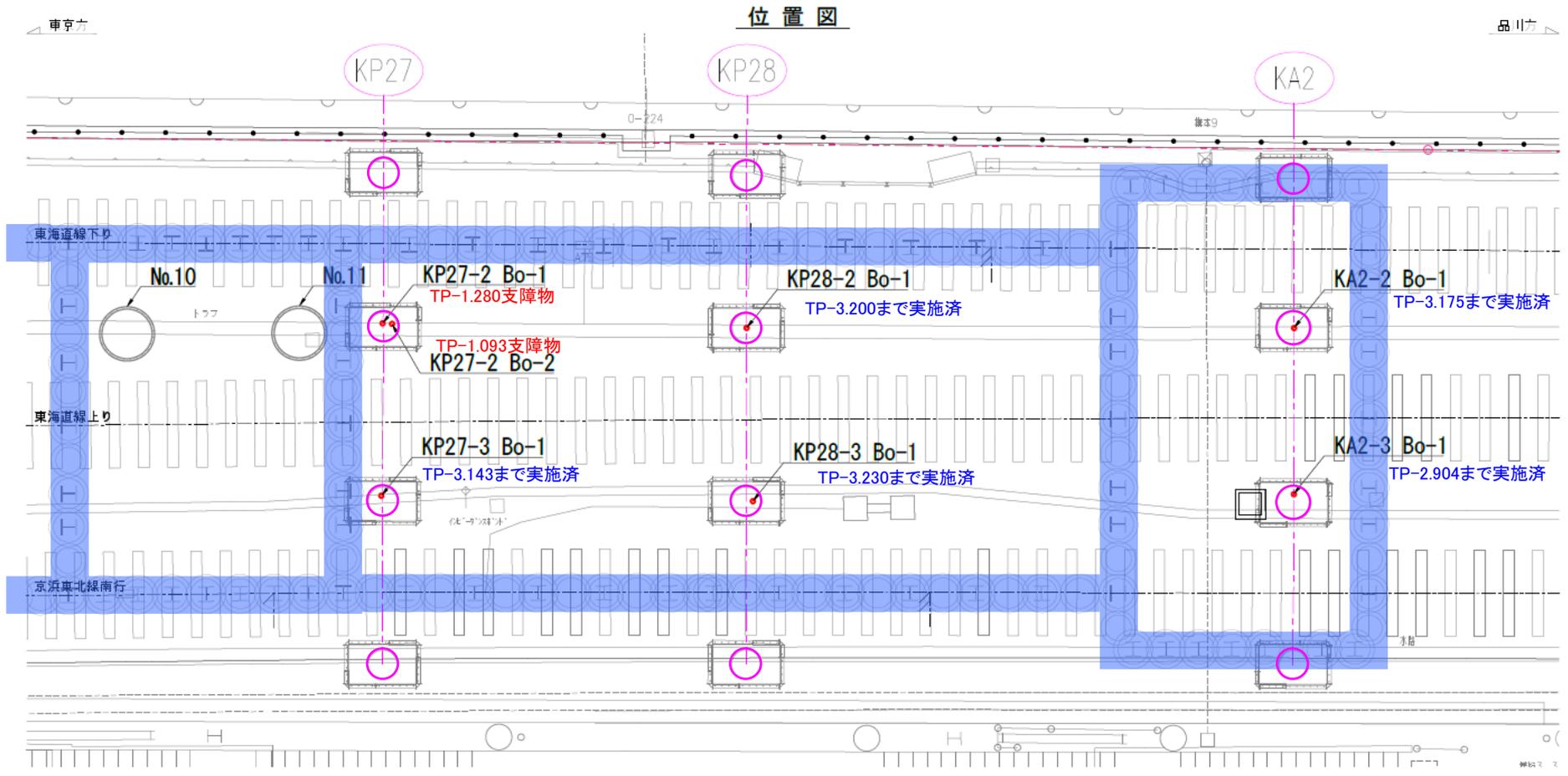
品川方石積み



仮橋脚部の試掘調査について:対象6箇所

ボーリング調査を実施済
矩形ライナー4段分の試掘調査を実施中

- 【凡例】
- 仮土留め
 - 仮橋脚



仮橋脚部のボーリング調査について: 対象6箇所

【資料1-6】



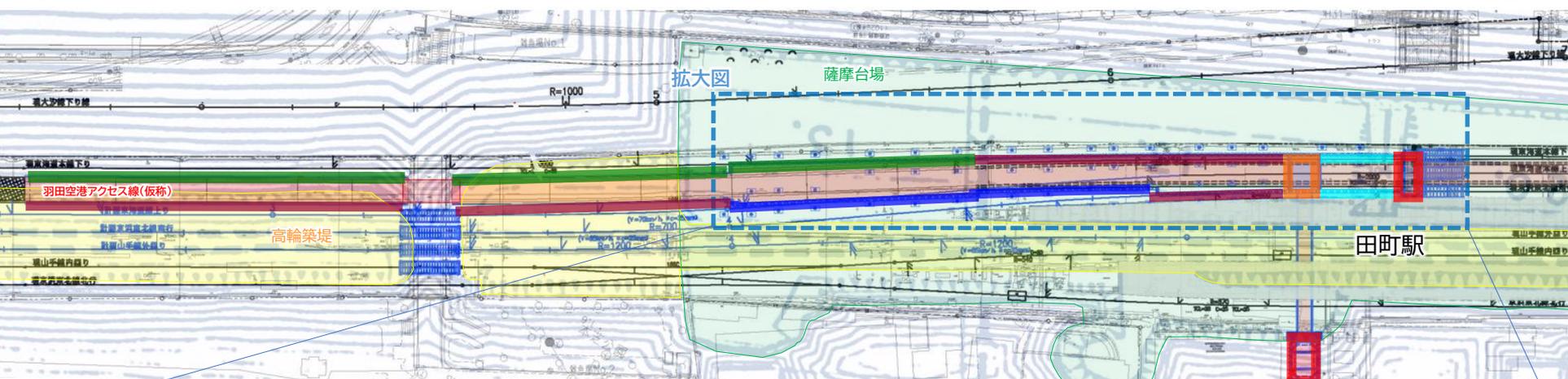
田町駅付近の今後の掘削を伴う工事計画について

- 田町駅付近では、羽田空港アクセス線（仮称）の地下構造物新設のため、東海道線上下、京浜東北線南行を工事桁で仮受けが必要
 施工ステップ：①仮橋脚工→②仮土留め工→③工事桁架設→④掘削→地下構造物新設
- 田町駅付近の東京方では、複数回の線路切換え工事を行いながら、施工スペースを確保した上で順次、工事施工を行っていく
- 今後、記録保存調査と工事施工の進め方について、調整をお願いさせていただきたい

【平面図】

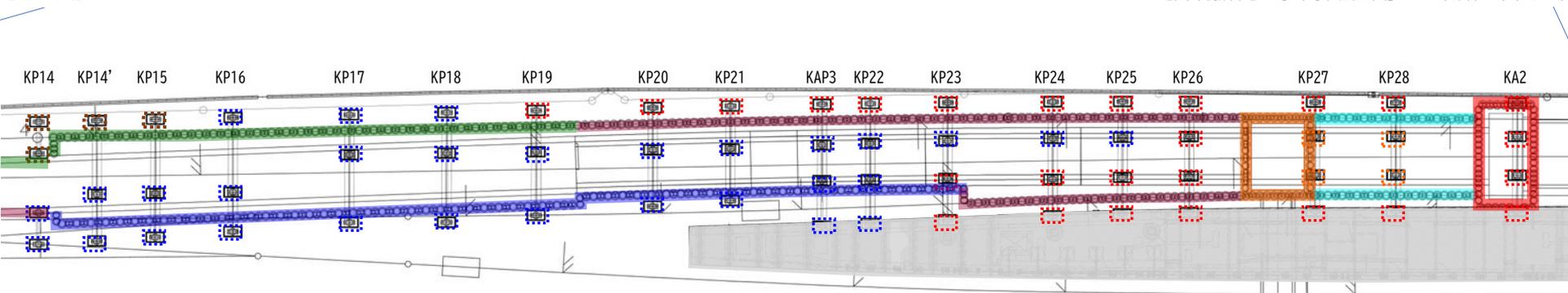
←東京方

品川方→



地図：内務省地理局「東京実測全図」1887(明治20)年に加筆

【拡大図】

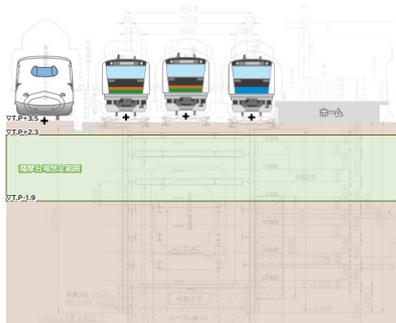


施工時期 凡例	仮橋脚				仮土留め						掘削
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度以降～
	Orange	Red	Blue	Pink	Orange	Red	Blue	Pink	Green	Cyan	

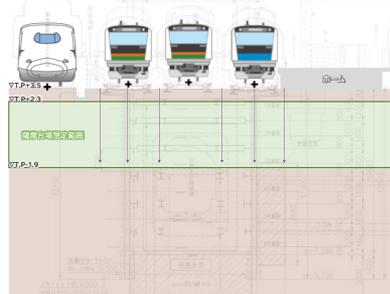
※現時点での想定であり、調査の進捗及び設計の深度化、工事の進捗に伴い、変更の可能性があります

■ 急ぎ、工事着手させて頂きたい
工事範囲について
・STEP1: 仮橋脚工
・STEP2: 仮土留め工

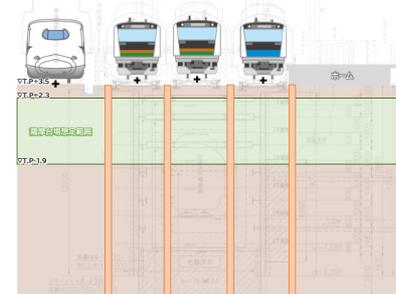
現状



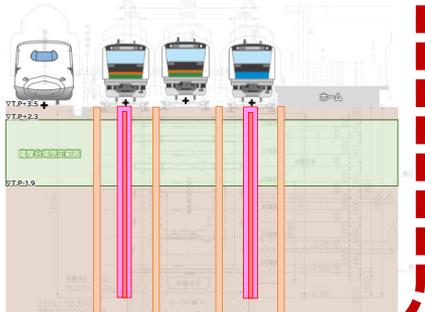
STEP 0
探針調査 L=5.0m



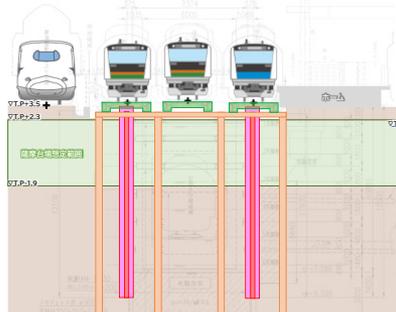
STEP 1
工事桁橋脚新設



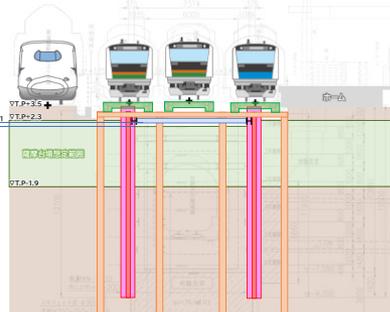
STEP 2
仮土留め新設



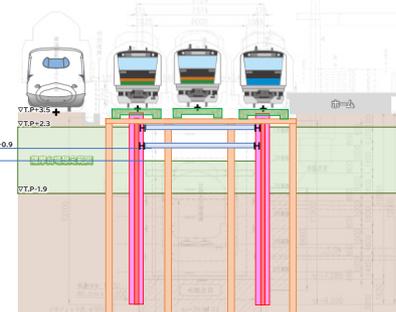
STEP 3
工事桁架設



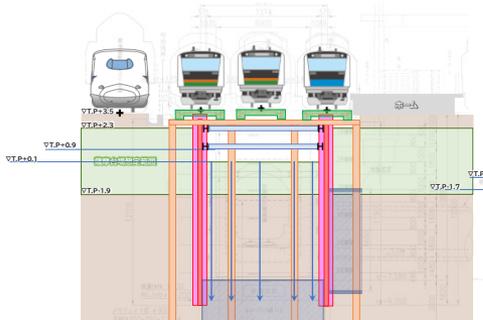
STEP 4
1次掘削・1段目切梁設置



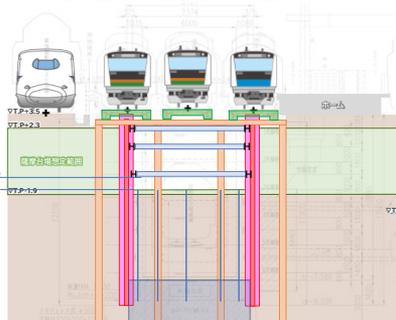
STEP 5
2次掘削・2段目切梁設置



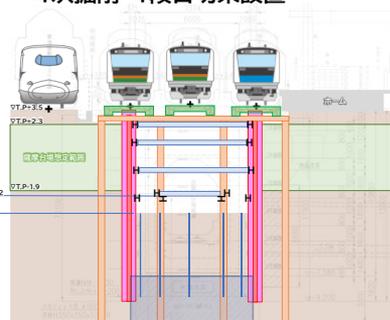
STEP 6
地盤改良工



STEP 7
3次掘削・3段目切梁設置



STEP 8
4次掘削・4段目切梁設置



最終形
運行開始時点

